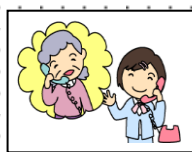


# 山口県介護支援

## 専門員協会だより



平成25年度  
第1号  
広報事業部

### 会員の負託に応えるために

山口県介護支援専門員協会 会長

佐々木 啓太

代議員総会も無事に終了し、平成二十五年度がスタートしました。昨年度スタート時は、体制的にも収支的にも危機的な状況でしたが、皆様の当協会に対するあたたかいご支援のおかげさまをもちまして、体制的にも収支的にも安定した形で事業運営することができました。

体制面については、地域と当協会の「顔の見える関係」を大切に、地域協会の会合や交流会等に出席させていただきました。また、美祢地区、防府地区の協会の皆様の多大なるご協力により、地域のお祭りに共催で参加することができました。研修面については、第九回ケアマネジメント研究大会をはじめ、会員のニーズのある研修会を開催し、多くの介護支援専門員の方々にご参加いただきました。特に、実務事務研修やスーパービジョン

研修（基礎編・実践編）には多くの皆様にご参加いただき、アンケートの評価も高いものがありました。

また、日本協会との繋がりにしても重視し、昨年度第二回都道府県支部長会議では、三層構造における代議員の選出についての等三つの質問を提出し、会議内でも取り上げていただきました。

収支状況についても、会員数の増加と研修参加者の増加、広告収入等により、黒字収支で終えることができました。

このように充実した活動ができたのも地域協会および会員の皆様方のご支援、ご協力の賜物だと感謝しております。

そして、今年度は会費の値上げをさせていただきますました。このことについても地域協会へ回った際に、三層構造の重要性、当協会の今後の活動をご説明させていただき、ご理解を得たところであります。

会員数については、当初減少するのではないかと予測もありましたが、七月現在で、千三百三十名と、五十名程度の減少にとどまりました。

この結果については、やはり当協会に

対し、大きな期待をしていただいているということだと思えます。

そうだった意味で、今年は皆さんの負託に応えていく一年になると思えます。

そこで、今年度についても、引き続き、顔の見える関係を重視し、「この会があつてよかった」と思ってもらえるよう活動を進めてまいります。

今年度計画については、既に代議員総会の際にご紹介させていただいていますが、新たに取り組む内容として、永く協会に入会し、介護支援専門員として活躍された方の表彰を行うこととしました。

また、研修関係については、一番期待されている部分でもありますので、引き続き会員のニーズのある研修会の開催をしていきます。そして生涯研修体系の確立にむけた準備や、研修委託を受けられる体制（法人化）についても、検討を進めていきたいと思えます。

また、地域協会との連携が一番大切にしなければならぬと思っております。引き続き地域協会の皆さんとの関わりを大切にし、会員の皆さんの声を協会運営に反映できるように頑張っております。

今後とも、当協会に対して暖かいご支援を何卒よろしくお願ひ致します。

